

鳥取で暮らす外国人編



令和6年度第4回地方創生ストリートミーティング 開催レポート



グローバル化が進展する社会において、鳥取市も外国人住民が増加傾向にあり、ますます多文化共生のまちづくりが必要となっています。

国籍を問わず、誰もが住みやすい鳥取市になるよう、鳥取市に在住の外国人からご意見をいただきました。

■ 開催概要

日 時：2024年11月21日(木) 19:00-20:30

会 場：鳥取麒麟square2階多目的室1

参加者：市長、文化交流課長、鳥取市内で暮らす外国人4名

REPORTS

【テーマ1】鳥取市のいいところ

【自然・食・風土】

- ・ 静かで過ごしやすい。夜中も騒音がなく静かなため、勉強に集中できる。
- ・ 美しい海や山など自然が近いため、心が癒される。
- ・ 野菜、果物、魚など食べ物がおいしい。

【ひと】

- ・ 職場に来るお客さんが優しい。市役所や郵便局の人も優しく、わからないことも親切に教えてくれた。
- ・ 分からないことがあっても、誰かが必ず助けてくれる。
- ・ 病院に行ったとき、専門的な用語を簡単な日本語や英語にしてメモしてくれた。

【まちの取り組み】

- ・ 日本語を無料で教えてもらえる講座があり助かっている。
- ・ 病院が比較的混雑しておらず、スムーズに受診できる。
- ・ 翻訳システムが使用でき、手続きがスムーズにできた。多言語対応はとても良いと思う。
- ・ 市役所の窓口は外国人が来やすい環境が整っており、日曜日でも対応してくれるので仕事を休まなくてもよいのでとても助かる。

 共通してあるのは、静かで落ち着いている・自然が豊かで食べ物がおいしい・人が親切ということ。市役所の窓口も親切な対応と言っただけで大変良かった。子育て支援や視覚障がい者対応、日本語が勉強できる環境など、鳥取市のいいところをたくさん挙げていただきありがたい。

【テーマ2】

外国人にとってもっと暮らしやすいまちにするためには

【施設・設備等】

- ・ 公園には小さい子ども用の遊具しかなく、高校生でも遊べるようなバスケットゴールなども設置してほしい。出身国では高校生でも遊べるバスケットボールやバレーボールができる設備がある。

【公共交通】

- ・ 鳥取駅からの最終のバスが20時過ぎで、帰る手段がなくなってしまう。
- ・ 砂丘線のバスは「SAKYU」とローマ字で記載があるが、他の路線はローマ字表記がなく漢字ばかり。日本語が得意ではない外国人のためにローマ字表記をしてもらえるとありがたい。
- ・ 距離があると、金額が高くなってしまう。ICカードがあればもっと便利だと思う。

REPORTS

- ・バス停が分かりにくい。バスのサイトもできたが、バス停の場所は書いてあってもルートがわからない。もう少しわかりやすくなるとよい。
- 👤 バスの表示が漢字のみだと外国の方にはわかりにくいとため、ローマ字表記にするなど少しずつ変えていく必要がある。
- 👤 バスの最終便が早いといった意見もあったが、自家用車での移動が増えたためにバスの本数が減っており、不便さを感じるようになってしまった。バスや列車など公共交通機関を確保していくことが重要だが、どのように確保していくか検討が必要。
- 👤 ICカードについては、市内の循環バスには取り入れており、来年からはJRにも導入される。さらによくなるよう、市内全体に広げていこうとしている。

【雇用】

- ・技能実習終了後、特定技能に移行して就職する際にどこから仕事の情報を集めればよいかわからない。仕事の見つけ方がわからないために鳥取から転出してしまった人もいる。外国人向けのジョブフェアなどの開催や、特定技能での就労を希望する外国人と、特定技能外国人の雇用を希望する企業のマッチングイベントがあれば良いと思う。
- 👤 鳥取で引き続き暮らして仕事をしたい外国人と、外国人雇用を希望する企業とのマッチングは非常に大切なことだと思う。

【災害】

- ・外国人の中には日本語があまり得意ではないため、家にテレビがない人が多い。テレビで災害情報が流れたとしても日本語の理解が不十分なために、災害の状況や危険性を正確に理解できない。できれば、外国人向けの防災訓練に力をいれていただきたい。外国人がさらに安心して生活できるようになると思う。
- ・防災情報や災害が発生した際の情報を伝える方法としては、SNSならフェイスブックで、多言語の方がよい。やさしい日本語でもよいが、災害時は緊張や慌てることもあるので情報を理解できない可能性がある。災害の際は「このアプリを見てください」と繰り返し伝えていけばよいと思う。
- 👤 もっと力を入れていきたい。現在鳥取市の防災アプリは8か国語に対応しているが、フランス語も追加し9か国語の対応にする予定。そのようなアプリも利用いただければと思う。毎年9月10日に防災訓練を実施しているが、市内の外国人の方にも声をかけ、参加してもらえよう機会を考えたい。また、近所の方ともつながりを持ってもらえる機会となれば非常に良いのではないかなと思う。

REPORTS

【生活】

- ・ 鳥取市はゴミの分別区分が多く、細かい。鳥取市から配布されたガイドブックを見ながら分別をしているが、日本語が難しく理解できないこともある。写真だけではなく説明動画をホームページなどに掲載してもらえるとありがたい。
- 👤 ゴミの分別は文字だけではわかりにくいため、動画でわかりやすくというのは非常に良いと思う。
- ・ 外国人は侍などに興味があり、渡辺美術館はとても良い美術館だと思う。ただ、説明が日本語表記しかないため英語、できれば多言語での説明を加えてほしい。島根には素晴らしい美術館があり、周辺の景色も美しいので若者が集まっていると思う。倉吉にも美術館が建設される予定で、鳥取にも美術館やギャラリーがあるとうれしい。映画館もあるとうれしい。
- 👤 美術館や映画館についても、市民の皆様からの要望は多い。渡辺美術館には甲冑や刀剣などがたくさんあるが、まだ十分に整理されていないのかもしれない。外国人の方も楽しめるよう、美術館の方にもできるだけ伝えたい。

【情報・相談窓口】

- ・ 同じ国の人に悩みを相談できる窓口があると良い。国や価値観が違っていると、感じ方や受け止め方が変わってくる。同じ国の人に相談すると伝えやすいし、共感してもらいやすく安心する。
- ・ 外国人の人数が1,887人と思ったより多くて驚いた。外国人も参加するようなイベントに出かければ、色々な国の方と知り合えてよいかもしれない。
- 👤 国際交流フェスティバルの開催がある。湖山の国際交流プラザでは普段からイベントが開催されているので、様々な国の方と異文化交流したりして楽しんでもいただければと思う。
- ・ いろいろな取組を実施しているが、その情報を外国人が受け取るのが難しい。国によって情報手段が違うため、外国人にうまく情報が伝わっていないのではと思う。フェイスブックなどSNSも活用し、日本語だけではなく様々な言語で、動画で字幕を付けて発信してもよいかもしれない。
- 👤 言葉の壁をどう乗り越えていくかも考えながら、鳥取市在住の外国人の方にも情報が伝わりやすいよう意識して取り組んでいきたい。
- 👤 フェスティバルだけでなく、つながりができたり安心して相談できるような環境ができればいい。ホームページは多言語化の対応、外国人の方への情報発信をしているところである。

【制度】

- ・ 国の制度の話になるが、手続き中にビザが切れても「手続き中」「更新中」などとし、健康保険やマイナンバーカードが使える状態にしてほしい。更新中にビザが切れてしまい、健康保険やマイナンバーカード、銀行が使えなくなった。アルバイトも更新ができるまでは休まざるを得なかった。
- ・ 在留期間が1年の外国人は、1年ごとにマイナンバーカード更新に市役所へ行かなければならない。入管と市がデータ連携などして「更新手続き中」ということを把握してもらえるとありがたい。